

平成 29 年度 自己評価結果公表シート

作成 神童幼稚園

1、本園の教育目標

本園は、「平和と共生をめざす、寛容で自立した人間の育成」をめざします。毎朝90分間の時間・空間・仲間・ゆとりの間を保障した「のびのび充実保育」を通して自立・自律心を養い、幼児の興味関心に沿った遊びや生活を展開し、仲間との協同の活動に発展する保育をめざします。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

・教育保育計画の策定 ・保育環境の見直しと整備

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教育保育計画の策定	月1回の園長、副園長、教頭、主幹保育教諭を中心にカリキュラム会議を開催。連動して学年ごとに月案会議、カンファレンス会議も開催し子どもたちの育ちの共有、支援を要する子どもへの対応協議等を行いカリキュラム会議に反映させた。併せてシニア、マスターリーダーで研究部会を設けて本園の特色保育の年間計画を作成しカリキュラム会議に反映させた。
保育環境の見直しと整備	・キンダー10 学級で二人担任制を実現した。 ・園児個々のポートフォリオを期中から毎月発行とした。 ・専用棚を設け、全園児の児童発達記録を作成し管理を始めた。 ・前庭部分をゴムチップ舗装に改修。 ・キンダー園児共同ロッカーを全て個人ロッカーに更新。 ・保育業務 ICT 化に向け園内無線 LAN 環境を構築。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

平成 30 年度からの新・幼保連携型認定こども園教育保育要領改訂に対応すべく、人的・質的・物的環境面の改善のスタートラインに着いたことは大きな成果といえる。しかし全て面で緒に就いたばかりであるので、研修や環境整備を今後も継続して、練度を順次高める必要がある。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育教諭全体で教育保育計画を作り上げる。	・教育保育計画を協議できる小部会を設ける。 ・公開保育を実施する。
幼保連携型認定こども園教育保育要領改訂を見据えて保育環境を見直す。	・保育環境ガイドライン(スケール)の試行。 ・園児の遊び、生活空間の環整整備をはかる。 ・園庭の増設をはかる。 ・園児がレジリエンスやソーシャルスキルを得る指導を取り入れる。

6、財務状況

公認会計士による監査により、適正に運営されていると認められています。

以上